

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます	施策 主管課	文化財課	施策主管 課長名	千葉 達哉
	施策No.	4	施策名	民俗芸能の伝承	施策の 目指す姿	民俗芸能への理解が深まり、伝承活動を活発に行っています	関係課名			
	現状と課題	・ユネスコ無形文化遺産に登録された早池峰神楽をはじめとして、伝統を誇る数多くの民俗芸能が各地域に伝承されていますが、少子高齢化による後継者不足により民俗芸能の伝承が困難になりつつあります。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1) 民俗芸能の伝承支援

- ・早池峰岳神楽公演会「早池峰神楽と山のめぐみ」平成25年5月4日午前10時～午後3時 大迫郷土文化保存伝習館 入場者150人
- ・みちのく神楽大会(共催) 平成25年6月23日午前9時～午後4時 石鳥谷生涯学習会館 出演者15団体 入場者350人
- ・花巻市郷土芸能鑑賞会 平成25年8月4日午前11時～午後4時 花巻市文化会館大ホール 出演者9団体 入場者700人
- ・古民家活用郷土芸能鑑賞会 平成25年9月23日午後1時～4時 市指定有形文化財熊谷家 出演者2団体入場者数150人
- ・花巻市青少年郷土芸能フェスティバル2013 平成25年12月15日午後12時～3時30分 花巻市文化会館大ホール 出演者9団体 入場者500人

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
郷土芸能団体数	地域ぐるみで伝承・保存に努めることが重要であることより、地域で実際に郷土芸能伝承・保存活動をしている状況を示す指標	花巻市郷土芸能保存協議会、花巻地方神楽協会、花巻市文化団体協議会の加盟団体より把握する	団体	目標値				96	96	96
				実績値	96	96	96			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	・保存会等を中心とした地域の保存活動への取り組みや伝統芸能を継承する姿勢によって、現状を維持している。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1-1	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	B	民俗芸能への理解を深める機会として世界遺産である早池峰神楽を見る機会を提供することは有効である。
	早池峰岳神楽公演「早池峰岳神楽と山のめぐみ」を大迫郷文化保存伝承館にて開催。(入場者150人)			
1-2	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	B	市内の神楽団体が発表する場として有効である。
	花巻地方神楽協会との共催による「第32回みちのく神楽大会」を石鳥谷生涯学習会館にて開催。(出演15団体、入場者350人)			
1-3	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	B	市内をはじめ、県内の民俗芸能を鑑賞することにより、民俗芸能への理解が深まる場として有益である。
	「花巻市郷土芸能鑑賞会」を花巻市文化会館大ホールにて開催。(出演9団体、入場者700人)			
1-4	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	B	地域に伝承される民俗芸能に触れる機会であるとともに、日ごろの成果を地域発表する機会として有効である。
	「古民家活用郷土芸能鑑賞会」を花巻市指定有形文化財熊谷家にて開催。(出演2団体、入場者150人)			
1-5	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	B	民俗芸能を担う青少年の発表の場として有効であり、後継者育成のために必要である。
	「花巻市青少年郷土芸能フェスティバル」を花巻市文化会館大ホールにて開催。(出演15団体、入場者500人)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・発表する場所・時期等について検証の上、民俗芸能団体だけでなく、市民もより民俗芸能に親しめる場として提供できないか検討する。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・伝承活動を進める上での課題(後継者・芸能大会への遠征支援・道具の更新等)の状況を把握する調査を実施し、計画的に支援できるよう検討する。

・花巻市を代表する芸能である早池峰神楽が国の重要無形民俗文化財指定を受け40年を迎える(平成28年)タイミングで、民俗芸能への理解をより深めることができる事業がないか検討する必要がある。

6 施策の総合的な評価

(課題)

・道具代や衣装代の自己負担が難しい状況となっており、郷土芸能団体からは、道具・衣装について整備補助金の創設要望がある。

・国内各地で開催されている民俗芸能大会等への出場費について、補助制度の創設要望がある。

(今後の方向性)

・市民が親しく民俗芸能に接し、理解を深め、保存伝承活動の地域への定着支援のため、引き続き民俗芸能発表機会を提供する。

・花巻市郷土芸能保存協議会等関係団体から各郷土芸能団体の活動状況や後継者の有無、費用、要望などを調査し、効果的な支援策を検討する。